



しあわせ

第111号
清水地区住民福祉協議会
山北町川西688
0465(77)2404

はじめまして!
健やかなる成長を

出生祝い

3月20日(日)に清水地区
住民福祉協議会より出生祝
いの贈呈をしました。
おめでとうございます。
今年度後半期(9月以降)
は1名の出生がありました。

絵糸ちゃんの名前には、
温もりを感じる絵の字を使
い、糸には人とのつながり
を大切に多くの人に囲まれ
て育ってほしいという思い
が込められているそうです。

ひより
伴 絵糸 ちゃん(峰下)
父 涼太さん・母 くるみさん
第1子(女の子) 2月生まれ



気負わないことが
長く続けるコツ

気候も春めいてき
た3月14日、谷ケの
田んぼで何年もウオ
ーキングをしている
人がいると知り、話
を聞きに行きました。
この日歩いていた
のは4人でしたが、
メンバーが決まって
いるわけではないそ
うです。

きっかけは、もう
20年以上も前のこと、
自分だけの時間が欲
しいね、と息抜きも
兼ねて時間の取れる
人同士が誘い合って、
夕食後の1時間ほど
舗装されているあぜ
道を何周か歩くことにしました。



ね「いろんなことを話しながらだ
から続けられたのかも」「続いたこ
とで足に自信がついたよ」とみな
さん口々に語っていました。

最近では昼間歩くように
なり、夜とは違ったおも
しろさもあるそうです。
いつもよく手を入れてあ
る畑を見て感心したり、
植え付けの参考にしたり。
「この間はサルが7頭く
らいいてね、我が物顔で。
イヤになっちゃう」など
など長く続いているだけ
あって話題がたくさん。
時間が出来た人で歩く
というスタンスなので、
顔ぶれはその時々で変わ
ったそう。時には谷ケ以
外からも昼間なら歩ける
という人もいました。
やるのもやらぬのも自
分次第。皆さんの中にも

そうしてはじまったウォーキング、
「夜の田んぼは明かりも少なくて怖
いこともあったけど、車の心配をし
なくていいからその点は安心だった
よ」「夜だから星がよく見えた。月
が出ていれば明るいしきれいだっ
たね。星に詳しい人の話を聞いたり、
あれは人工衛星じゃないのなんて言
い合ったりして」「田んぼに水が入
るとカエルの鳴き声がすごかったわ

きつと自分なりの体力づくりをし
ている方がいる
と思います。「お
金もかかってい
ないし、気軽に
できるのがい
んじゃないかし
ら」という言葉
に共感できる方
も多いのでは
ないでしょうか。



大掃除でスツキリ



昨年12月26日(日)に、各自治会長や関係者の皆様による恒例の清水ふれあいセンターの大掃除が行われました。

用意された道具で窓や畳、床をみがいて、外では掃き掃除のほか、取ってきた青竹を使って支所の周りのすす払いもしました。また換気することが増えたためいつも以上に酷使したであろうエアコンも入念に掃除しました。

参加した方には全員にマスク一箱が配られ、連合自治会長の心遣いが感じられました。



芽吹き、ほっぺらびはじめた春に寄せて



本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、清水地区住民福祉協議会主催の行事だけでなく多くの行事が中止になりました。清水のイベントは住民同士の親しさもあって「密」や「会食」を伴うことが多く、致し方ないことだとわかつてはいてもやはり物足りないですね。この会報「しあわせ」もなんだか寂しいものが続いてしまっています。

とは言え、3年も経ったからこそようやくコロナとの向き合い方がわかってきたのでは策を講じて既に再開しているグループをはじめ、今回紹介したようにウォーキングをしたり、集会所で絵手紙を描いたりなど少ない人数で活動している方々もいるようです。



そんな様子が、季節のせいもあって小さな芽・蕾がのちに大きな花を咲かせるために、力を溜めているかのように感じます。寒かった冬から春を迎え、庭のボタンは芽を出し、街のモクレンも咲き出しています。もうじき清水の山々も笑いはじめる頃。人間も続きたいところです。



清水地区・町 これからの主な行事予定

4月4日	5日	29日	5月5日	6月5日	7月3日	8月1日
やまきたこども園入園式	川村小学校 入学式	山北中学校 入学式	大野山開き	清水住民福祉定期総会	町親睦ゴルフ大会	山北中学校 体育祭
				酒匂川統一美化	クリーンキャンペーン	第一回 お茶のみ会
					カーマラソン in 丹沢湖	道の駅山北 感謝祭
						しあわせ112号 発行

編集後記

111号の「しあわせ」をお届けします。今回久しぶりに田んぼを歩いてあらためて、目にしたり聴こえたりしてくる野鳥の種類が違うことに気付きました。山が近いところと開けた田園では、当たり前ですが、過ごしている鳥は違うのですね。また周りの風景も山に囲まれているので、季節が変わることに違った風情を楽しめそうです。

普段は車でツーっと通り過ぎてしまうようなことだけど、ゆっくりと進むことでしか気づかないこともあるようです。感想や寄稿をお持ちの方は、広報部または清水支所までお寄せください。(T)